

富士見町議会議員一般選挙公報

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。

令和5年4月23日 執行

富士見町選挙管理委員会

故郷に憧れ、
懐ける富士見町を
創るために!!



産業振興

■引き続き注力！
テクノ街道沿線への「町内企業の集積」
を後押しします。
「町外企業の誘致」を推進します。



過疎化対策

■町内集落に平等な支援策を！
「日々の買い物、出払い、近隣の空き家問題」
等住民に寄り添った課題解決に向け活動し
ていきます。



少子化対策

■多子世帯への手厚い補助へ！
「お客様の人数が4、5人」となっても普通の
生活ができる環境を推進します。



観光戦略

■町内外との連携強化！
エコラインの「小淵沢延伸」を継続推
進します。「地元特産品のブランド化」を
目指します。



三井新成

困っている人を見たら手を差し伸べずにはられない、
そんな性格の私が考える...

人に寄り添い、自然と調和、
郷土を愛する3つの視点と取り組み

人に優しい道、鉄橋の補修、
駅のバリアフリー化

私は車を持っていません。移動は基本的に自転車、だからこそ
見えてくる道の問題。シニアカー、ベビーカーでも安心できる道づくり！

富士見の気候、特徴を
生かした農業の振興

私は特産ルバーブ、フルーツホオズキ、スーパーフードのキノア、
アマランサスを栽培。富士見町の農業には大きな可能性、発展性があり、
ワクワク感はありません。

国際交流で育む郷土の誇り
そして町に活気を！

国際交流に必要なのは英語ではなく、郷土を愛する心です。
あなたは富士見町の良いところ、どれだけ語れますか？



もりあげよう！
みんなのフジミ



https://www.facebook.com/quinuca.cafe

日高けんぞうプロフィール (59歳)
法政大学 スペイン語講師
1988年 ハヶ岳中央農業実践学校
1989～92年 JICA青年海外協力隊員
(南米パラグアイで農業指導)
1996年 名古屋大学大学院修士
.....富士見町での取り組み
2016年 駐日ベルギー大使を招聘
2019年 駐日ボリビア大使を招聘
2016年～今日 栄庭園の高いキノア、
アマランサスの栽培普及



日高けんぞう

笑顔あふれる
希望にみちた町づくりを進めよう！
「声」をつなぐ

この地に生まれ、地域に育てられた想いを胸に

2期8年の実績と経験を活かして
暮らしを守る 4つのチャレンジ

1. 子育てしやすい環境づくりと教育・福祉の充実！

- 子育て世代への支援継続の推進
- 特色を活かした次世代を見据えた人材育成と教育環境の向上
- 医療機関や介護負担軽減の環境整備と支援拡充

2. 地域の魅力を活かした観光振興と産業振興！

- 友好都市・姉妹都市からの交流人口拡大促進
- 2大リゾートを含む、井戸尻考古館・道の駅を地域活性化の原動力に
- 地域産業の振興と雇用確保、高品質な農産物のブランド化や地産地消の推進

3. 暮らしつづけたい地域づくり！

- 多様なある自助・共助・公助のバランスがとれた町づくり
- 防災・減災対策強化と老朽インフラ整備推進で安心安全な生活基盤の確保
- 豊かな自然環境を守りながら新時代への事業推進

4. 輝く未来のために！

- 女性や定年後の方が活躍できる社会への環境整備
- スポーツ系アスリートや、文化系スペシャリストへの支援拡充
- 様々なプロフェッショナルの方々と子ども達との交流事業推進



矢島たかし

子育て世代と
地域の声を届ける

各集落での意見交換会、富士見の魅力町内外発信、
子ども議会実施、提案型のまちづくりを進めます！

生み・育て・働き・暮らせる町

- ・共働き/核/シングル/介護看護中家庭を支える保育学校制度
- ・各地域への子育て世帯支援住宅の設置

だれもが自分らしく輝き挑戦できる町

- ・起業/町内企業支援や多様な仕事の選択肢づくりと情報発信
- ・子どもの個性を活かす教育環境づくり(地域に根ざした各学校/園の存続)

どの集落も繋がりと活力を持つ町

- ・多世代が交流できる居場所としての地区公民館再整備支援

環境を暮らし、教育、観光の強みにできる町

- ・雇用と地域商店利用にも繋がる里山観光産業づくり

高校・大学とアメリカで学び、東京でギャラリー勤務後、地域おこし協力隊(富士見
森のオフィス)として移住。高森区で子育てしながら環境系NPO勤務・翻訳業に加え、
総合計画審議委員・教育・井戸尻考古館など町の仕事に携わる。

『本当の豊かさ』が詰まった大好きな
富士見町の地域文化を 次世代に繋ぎ、
未来に向けた行動を今、起こします！



34歳2児の母

元地域おこし協力隊

渡辺よう

webサイトは
コチラへ

文化人が愛した富士見をもう一度

自然と人々が美しく調和し、暮らしやすい富士見町には、且つて
斎藤茂吉、伊藤左千夫、島本彦彦達アララギ派の歌人が訪れ、
また詩人尾崎喜八が分水荘に暮らし、多くの作品を生み出しまし
た。代表作“富士見に生きて”で、彼はハヶ岳の麓のこの町を
“時の試練にしっかりと堪えた、静かな大きな書物の様に私の前
に大きく傾いて開いている”と、そこに素朴に暮らす人々を深い
愛情を持って表現している。家庭や学校教育の中でこの文化の魅
力は十分に伝承されているでしょうか？

移住された住民の力と知恵を街作りに

富士見の自然と人情の篤さに魅せられて移住された皆さんは日々
満足されてお暮らしですか？ この町に生まれ、住み続けている
方々と共に知恵を出し合い、魅力ある街作りに取り組みたいと強
く感じています。

再度立候補を決意！

子育て、医療、福祉、教育などの未来に向けて今すぐ取り組むべき
課題が山積しています。児童数の減少で歴史と地域文化の拠点
である小学校の閉校問題、何としても町内に3つの小学校は残す
べきです。以上3点の実現の為、未来への夢を実現する為、私は
立候補を決意しました。義理や集落代表と言った昔からのしきたり
から解放され、貴方ご自身の判断で尊い一票を島 正孝にご投票
下さい。



島正孝

『私たち』の富士見をつくる。

「対話」と「交流」でつなぐ町へ

西あきこ3つの政策

① 子どもも大人もゆとりのある町へ

- 子どもや子育て世代の声をつないで 3つの小学校維持
学びの環境整備
- 学び手と学びの支え手をつなぐ
- 子どもから高齢者の「居場所」づくりで多世代をつなぐ

② 誰にとっても暮らしやすい町へ

- 地域と地域をつなぐ公共交通の確保
- 多様な価値観をつなぎ、
すべての人が自分らしく暮らせる町へ

③ 環境に配慮した町へ

- 農地を活かして、働き手をつなぐ
- 地域の産業をつないで、地域経済の活性化
- 生物多様性を保全し、自然・文化・歴史をつなぐ



西あきこ

元小学校教諭
36歳

町政70周年に向けて

温故知新

富士見町はもうすぐ町政70周年を迎えます。

私が生まれた年の合併です。

先人達が合併に懸けた思いを改めて

見つめ直し、新たな町づくりに邁進して

まいります。

・テクノ街道への企業誘致の推進

・遊休農地の有効活用、計画的森林整備の推進

・保育園給食費無料化の実現

・観光の強化
富士見高原、富士見パノラマ
両リゾート施設の充実



名取くにはる

軍拡より子育て支援の充実を！

私は、何よりも平和をもとめます。戦争は、女性や子ども、
障がいをもつ弱い立場の人たちの人権を奪い、苦しめます。

① 子育て支援の充実・教育環境の改善を実現します

- ・3つのゼロ(学校給食費、子どもと障がい者の窓口医療費
国保料の子どもの均等割の無料化)を実現します
- ・高校・大学の学費半額、入学金廃止、給付型奨学金の拡充

② 福祉が行き届いた富士見町を目指します

- ・補聴器購入助成制度を拡充します

③ 物価高・コロナ禍から暮らしと産業を守ります

- ・物価高や燃料費高騰から地域の産業を守ります

④ 環境にやさしい町づくりを進めます

- ・屋根設置型太陽光発電、ソーラーシェアリングを支援します
- ・住民合意のない太陽光発電事業には反対します

⑤ 大軍拡ストップ、国民の声が届く政治に変えます

- ・地方政治の前進が国政にも変化をもたらし、国政が変われば
地方でできることも増えると考えます

日本共産党の議員は、これまででも、これからも、町民のみなさんの
困り事に、最後まで寄り添って働きます

1957年生まれ、富士見区在住。43年間、小学校、養護学校の教員として勤務。「信濃
子ども詩集」編集・発行、町教育委員会主催「富士見高原詩のフォーラム」選考委員。



山口はじめ

日本共産党

富士見町議会議員一般選挙公報

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。

令和5年4月23日 執行

富士見町選挙管理委員会

もっと 町に元気を。

こどもや孫たちの未来の暮らしにも配慮した、人に優しい持続可能な町を、住民と一緒に考えていくための

5つの戦略。

戦略01

農業×観光×環境＝『元気』
岳麓の宝を活かし、活力に変えていきます。

戦略02

高齢者や障がい者、地域の人々が『安心』して暮らせる仕組みづくり。
みんなが安心して暮らせるよう支援を行っています。

戦略03

子育てしやすい町づくり。『安心』と共に。
こども・家庭が安心して生活できるよう支えます。

戦略04

製造業・建設業・商業が『元気』な町。
それには人の活躍と広い視点です。
業種を問わず、働く人々、事業を支援します。

戦略05

町の強みを活かすことは『誇り』となります。
富士見の自然や歴史などの強みを活かしていきます。



牛山もとき

公約・政策

- 01

理想の議会を目指します
直接関わることで実情を知り、望ましい議会に近づけます！
- 02

直面する課題に取り組みます
緊急かつ重要な課題の本質を知り、付度することなく真摯に向き合います！
- 03

3つの充実と3つの展望
次の時代、新しい時代に備えた町づくりのため『3つの充実と3つの展望』を基本とした活動に邁進します！
3つの充実『町の活性化対策』
仕(事)：やりがいと安定収入が期待できる仕事がある食(品)：美味しく、身体によい食材や食品がある住(居)：住みやすく、棲みたくなる住環境が整っている
3つの展望『次世代のための展望』
[直面する課題目標]
→5年以内(2020年代)
[中期的な課題目標]
→10～20年(2030～2040年代)
[長期的な課題目標]
→20年超(2040～2050年代)



牛山 吉彦
よしひこ



私が目指す富士見の町づくり



五味仙一
ごみせんいち

- その①

働きたい町
伝統ある花卉、野菜、酪農生産者への支援を強化し農家所得の向上と産地維持を目指す
- その②

子どもにやさしい町
出生者数の減少を最重要課題と捉え、町単独の支援策を講じ、コロナ前の水準まで早期に回復する
- その③

住みたい・帰りたい町
この町に生まれ、育ち、学んだことを微笑みと共に思い出せる「住み続けたい」「帰りたくなる」町づくりを強力に推進
- その④

災害に強い町
風、水、地震の災害ごとに町民一人ひとりが取組む(自助)固有の避難行動を理解し、災害発生時に避難難民を出さない

この町を守り続けている方々が
安心して暮らせる町を目指します！

「住んでいてよかった町」
「住んでみたい町」富士見

おだてるおの公約

1

かたよりが無くすべての世代が住みやすい町づくり
富士見町は3人に1人が高齢者という社会を抱えています。子供や大人、老いも若きもすべての人が安心して住みやすさを感じる町づくりを目指します。

2

富士見町の今抱えている課題の解決を最優先
まずは「地元の要望を聞き、解決に向け努力が最優先」をモットーに、議員としての仕事と秩序ある行動をします。

3

人にやさしく自然にやさしい町づくり
対話を重視した行政、親切、丁寧に小さな声こそ大切に行政、町民に密着した議会を目指します。

4

町民が主になり自主性をもった町づくり
今、自分たちに何ができるかを考えながら公助、共助、自助の町づくりを目指します。



おだてるお

未来へつなぐ 活力あるまちづくり



かわい 弘人
ひろと

町民であることに誇りを感じ、暮らしやすいと実感できるまち、働く若い世代が安心して子育てできるまち、高齢者が生きがいを持ち元気に活躍できるまち、自然と文化の香り高いまち、

そんな まちづくり を進めます。



- 若者が住みたいと思う働きやすいまちへ
学んだスキルを活かせる労働市場を開拓(「雇用の質」を高め職場環境の改善を働き掛けます。)
- 切れ目ない子育て支援、少子化に歯止め
経済的にも安心して子どもを育てられるよう、ライフステージに合わせた子育てにやさしいまちづくりを実現します。
- 縄文遺産を活用、時空を超えた魅力あるまちへ
縄文遺産を守り、活用し、八ヶ岳南西麓で育まれた文化を発信する観光拠点を整備し、町の魅力を高めます。
- 小規模集落に活力
住民主体のまちづくり
人口の減少、高齢化などにより地域力が低下する小規模集落の取り組みを後押し、活力を高めます。
- 富士見町の高齢者をさらに活躍させる
農業高校の特徴を活かした富士見らしい高校再編計画を進められるように、地域とともに盛り上げていきます。

プロフィール
1955(昭和30)年4月11日生まれ。本年、おひつじ座元新聞記者、町内での取材活動を経て、西山地区へ移り住み約20年。畑を借りて始めたハーブ栽培はライフワークに。剣道初段、趣味は社交ダンス、煎茶道。



「かわい弘人ホームページ」
<https://kawai-hiroto.com>

私が目指す富士見町の風景。
それは、子どもとお年寄りが一緒に過ごす風景です。
町民の声を町へつなげ、だれひとり取り残さない。
未来を創造できる子どもをみんなで育て、明るく住みやすい、幸せな町へ。



小倉ゆうこ

- みんなに愛される富士見町へ

4つのスローガン
- お年寄りと子どもの笑顔

富士見町を守り続けてくれたお年寄りを大切にそして未来あふれる子どもたちの笑顔を守りたい
- 豊かな自然

多くの文人にも愛された、この富士見町の自然を守りたい
- 町民が主役

みんなつながってみんな一緒に！だれひとり取り残さない環境を！
- だれひとり取り残さない

町民を見つめ、みんなの幸せを探し、繋ぎ合わせたい

投票日は

4月23日(日)です

投票時間

午前7時から午後8時まで

当日都合の悪い人は期日前投票
(不在者投票)をしましょう

期日前投票

投票期間 4月19日(水)～22日(土)
投票時間 午前8時30分から午後8時まで
投票場所 役場4階

未来の富士見町に向けて
あなたの大切な一票を！



小林としまさ